

Logistics Partner,
SANRITSU



平成28年3月期

中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

証券コード:9366

 **サンリツ**



代表取締役 社長執行役員

三 井 康 英

Contents

ご挨拶	P1
財務ハイライト	P2
セグメントの業績	P3
四半期連結財務諸表(要旨)	P5
特集	P7
トピックス	P8
株式の状況	P9
会社概要	P10

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに平成28年3月期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の事業概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、中国に端を発する株式市場の混乱や、個人消費の低迷など先行き不透明な状況が続きましたが、企業業績は好調に推移し、雇用・所得環境において改善がみられました。世界経済は、中国経済の減速により、新興国を中心に下振れリスクが強まったものの、全体としては緩やかな回復基調を維持いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は個人消費及び建設投資が伸び悩み、低調な荷動きとなりました。輸出貨物は中国向け貨物が減少したものの、アメリカ経済の回復により総じて堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社は、電力変換装置及び無線通信機器の取扱額が増加いたしました。国際海上貨物における工作機械の取扱額が大幅に減少したことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては、倉庫稼働率を高水準で維持できたことにより、倉庫事業部門の原価率が改善したことに加え、荷量変動時における人員の効率的配置に努めた結果、営業利益は増加いたしました。

国内連結子会社におきましては、商品販売業務の増加に加え、梱包業務における新規業務の開始により売上高は増加したものの、主要顧客における単価見直し等の影響により営業利益は減少いたしました。

中国連結子会社におきましては、当第2四半期までに発生した一連の子会社株式譲渡に係る割増退職金及び在庫処分等の費用が影響し、連結利益を引き下げる要因となりました。また、昨年より推し進めた事業再編がほぼ完了したことにより、通期連結売上高は減少することになりますが、赤字体質からの脱却が進み、通期連結利益への影響が大幅に改善することになります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億11百万円(前年同期比10.5%減)、営業利益3億24百万円(同34.3%増)、経常利益2億52百万円(同70.0%増)となりました。なお、中国華南地区の子会社2社の譲渡において関係会社株式売却損28百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円(同18.6%減)となりました。

株主の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成27年12月

経営ビジョン

確固たるビジネスモデルを確立し、
グローバルに成長し続ける、存在感ある企業へ

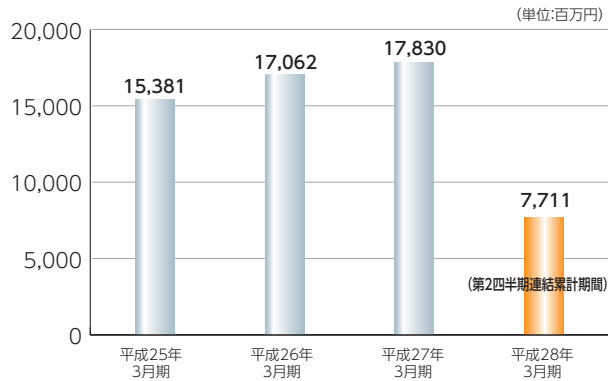
財務ハイライト

■連結

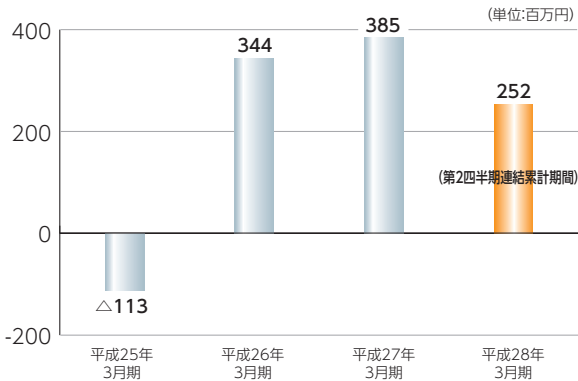
(単位:百万円 未満切捨)

決算期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年3月期 第2四半期連結累計期間
売上高	15,381	17,062	17,830	7,711
経常利益又は経常損失(△)	△113	344	385	252
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	△239	108	126	48
純資産額	6,751	6,983	7,070	6,915

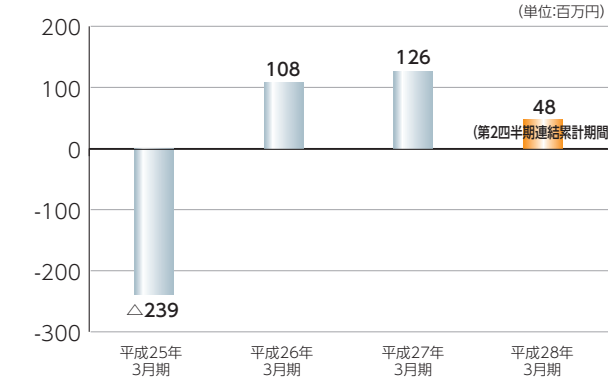
■売上高



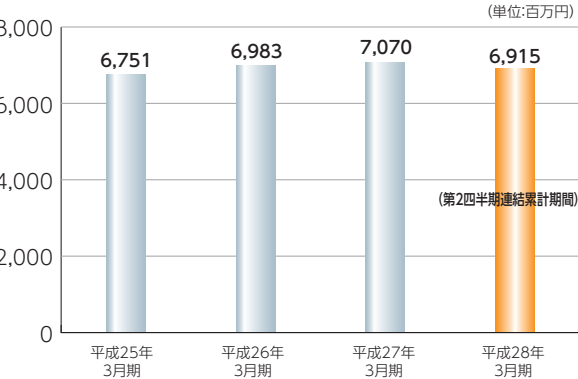
■経常利益又は経常損失(△)



■四半期(当期)純利益又は純損失(△)



■純資産額

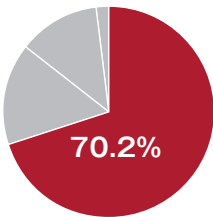


セグメントの業績

事業の種類別セグメント

梱包事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械、医療機器等の梱包及び木箱製造等を行っており、顧客のニーズに合わせた梱包仕様の提案をいたします。

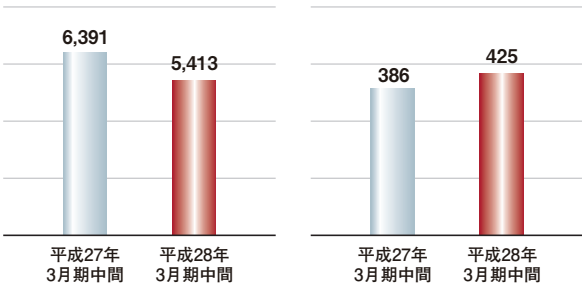


電力変換装置の取扱額が増加したものの、国際海上貨物における工作機械の取扱額の減少及び中国子会社譲渡の影響により売上高は大幅に減少いたしました。この結果、当該部門の業績は、売上高54億13百万円(前年同期比15.3%減)、セグメント利益4億25百万円(同10.0%増)となりました。

売上高 54億13百万円(前年同期比15.3%減)
セグメント利益 4億25百万円(前年同期比10.0%増)

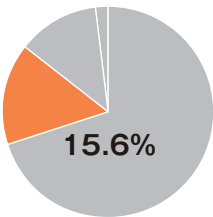
(単位：百万円)

●売上高 ●セグメント利益



運輸事業部門

電子・通信機器、硝子製品、工作機械及び医療機器等のトラック輸送を行っており、安全かつ低コストをモットーに全国各地に配送いたします。

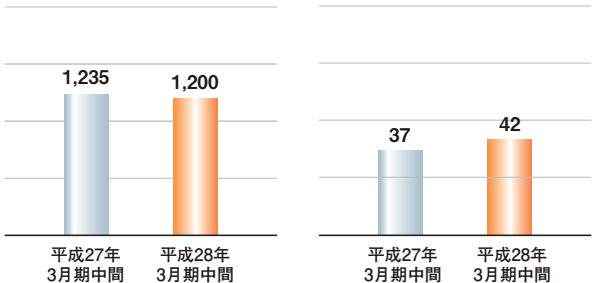


無線通信機器の取扱額が増加したものの、医療機器関連の3PL分野の取扱額が減少いたしました。この結果、当該部門の業績は、売上高12億円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益42百万円(同13.0%増)となりました。

売上高 12億円(前年同期比2.8%減)
セグメント利益 42百万円(前年同期比13.0%増)

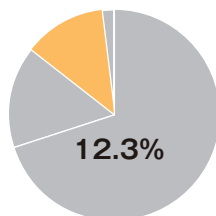
(単位：百万円)

●売上高 ●セグメント利益



倉庫事業部門

保管、入出庫及び賃貸を行っており、様々な流通加工に適した倉庫をご用意しております。



電力変換装置の取扱額が好調に推移したことに加え、倉庫稼働率を高水準で維持できたことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高9億50百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益1億92百万円(同45.5%増)となりました。

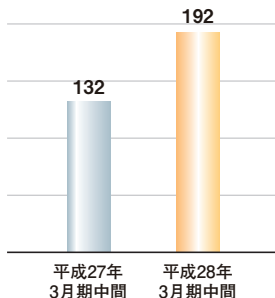
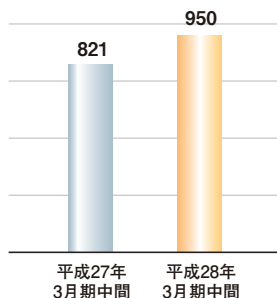
売上高 9億50百万円(前年同期比15.7%増)

セグメント利益 1億92百万円(前年同期比45.5%増)

(単位：百万円)

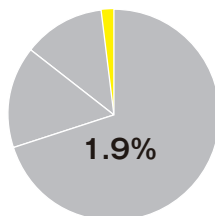
●売上高

●セグメント利益



賃貸ビル事業部門

サンリツ本社ビルにおいて、事務所及び共同住宅の賃貸を行っております。



本社ビルにおける不動産管理会社の契約を昨年6月に変更したことにより、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億46百万円(前年同期比13.4%減)、セグメント利益61百万円(同25.2%減)となりました。

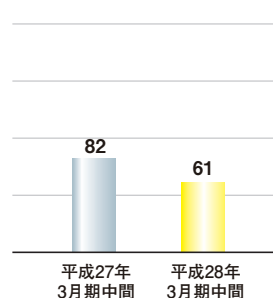
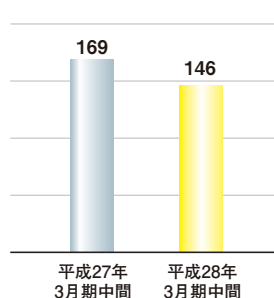
売上高 1億46百万円(前年同期比13.4%減)

セグメント利益 61百万円(前年同期比25.2%減)

(単位：百万円)

●売上高

●セグメント利益



四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資 産 の 部		
I 流動資産	6,478	5,659
現金及び預金	2,477	2,268
受取手形及び売掛金	3,513	2,924
商品及び製品	17	17
原材料及び貯蔵品	122	126
繰延税金資産	164	123
その他	189	206
貸倒引当金	△6	△6
II 固定資産	14,844	14,574
有形固定資産	12,937	12,672
建物及び構築物(純額)	8,274	8,115
機械装置及び運搬具(純額)	115	114
土地	2,308	2,308
リース資産(純額)	2,202	2,098
その他(純額)	35	34
無形固定資産	136	140
ソフトウェア	129	134
その他	6	6
投資その他の資産	1,771	1,761
投資有価証券	474	430
破産更生債権等	21	20
繰延税金資産	674	692
その他	617	633
貸倒引当金	△17	△16
資産合計	21,323	20,234

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負 債 の 部		
III 流動負債	4,860	4,086
支払手形及び買掛金	1,123	664
短期借入金	1,995	1,875
1年内償還予定の社債	112	112
リース債務	198	197
未払法人税等	140	122
賞与引当金	310	309
その他	980	804
IV 固定負債	9,392	9,231
社債	107	51
長期借入金	5,651	5,624
リース債務	2,103	2,005
退職給付に係る負債	739	751
資産除去債務	397	401
長期預り金	210	214
金利スワップ	183	183
負債合計	14,253	13,318
純 資 産 の 部		
株主資本	6,906	6,859
資本金	2,523	2,523
資本剰余金	2,441	2,441
利益剰余金	1,944	1,897
自己株式	△3	△3
その他の包括利益累計額	68	△40
その他有価証券評価差額金	191	159
繰延ヘッジ損益	△124	△124
為替換算調整勘定	50	△28
退職給付に係る調整累計額	△49	△47
非支配株主持分	94	97
V 純資産合計	7,070	6,915
負債純資産合計	21,323	20,234

四半期連結損益計算書

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
Ⅵ 売上高	8,617	7,711
売上原価	7,154	6,238
売上総利益	1,463	1,472
販売費及び一般管理費	1,221	1,148
Ⅶ 営業利益	241	324
営業外収益	13	13
営業外費用	106	85
経常利益	148	252
特別利益	0	0
特別損失	—	28
税金等調整前四半期純利益	148	224
法人税、住民税及び事業税	37	132
法人税等調整額	46	42
四半期純利益	64	50
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	60	48

ポイント Ⅰ

流動資産につきましては、56億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億19百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少2億8百万円、受取手形及び売掛金の減少5億89百万円及び繰延税金資産の減少41百万円によるものであります。

ポイント Ⅱ

固定資産につきましては、145億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億58百万円、リース資産の減少1億3百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少43百万円、繰延税金資産の増加17百万円等によるものであります。

ポイント Ⅲ

流動負債につきましては、40億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億74百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少4億58百万円、短期借入金の減少1億19百万円等によるものであります。

ポイント Ⅳ

固定負債につきましては、92億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少いたしました。これは主に、社債の減少56百万円、長期借入金の減少26百万円、リース債務の減少98百万円及び退職給付に係る負債の増加11百万円によるものであります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円 未満切捨)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
Ⅷ 営業活動によるキャッシュ・フロー	797	454
投資活動によるキャッシュ・フロー	93	△273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△625	△397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	7
現金及び現金同等物の増減額	246	△208
現金及び現金同等物の期首残高	2,877	2,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,124	2,268

ポイント Ⅴ

純資産につきましては、69億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少47百万円、その他有価証券評価差額金の減少32百万円及び為替換算調整勘定の減少79百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.7%から33.7%となりました。

ポイント Ⅵ

電力変換装置及び無線通信機器の取扱額が増加いたしました。国際海上貨物における工作機械の取扱額が大幅に減少したことにより、売上高は減少し、77億11百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

ポイント Ⅶ

倉庫稼働率を高水準で維持できたことにより、倉庫事業部門の原価率が改善したことに加え、荷量変動時における人員の効率的配置に努めた結果、営業利益は増加し、3億24百万円(前年同期比34.3%増)となりました。

ポイント Ⅷ

営業活動の結果得られた資金は、4億54百万円(前年同期は7億97百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億24百万円、減価償却費3億66百万円、売上債権の減少4億47百万円、仕入債務の減少2億92百万円及び法人税等の支払額1億47百万円によるものであります。

特集 拠点紹介

当社は東日本を中心に陸・海・空の要所に拠点を構えております。
今回はその中で、海上貨物の取扱いに注力している拠点をご紹介します。

横浜事業所



拠点住所

〒230-0054
神奈川県横浜市鶴見区大黒ふ頭22
Y-CCパッケージングセンター 2階

事業内容

■ 梱包業務 ■ 保税業務 ■ 通関業務
■ 荷役業務 ■ 輸送業務 ■ 倉庫業務

交通

車：首都高速湾岸線「大黒ふ頭」出口を左折直進
バス：JR鶴見駅より市バス鶴見駅循環「海づり公園入口」下車

主要設備

- 延床面積5,049㎡
- 天井クレーン(50t、20t、10t、7.5t、5t、2.8t)
- 28tフォークリフト
- 8tエレベーター
- 総合保税地域



スチール梱包業務のご紹介

横浜事業所は、国際海上貨物における一貫物流業務を強みとしており、梱包から保税・通関・港湾への輸送・現地据付まであらゆるニーズに対応しております。

拠点は、大黒ふ頭と本牧ふ頭の2拠点体制を確立しており、大型クレーンや大型フォークリフトを備えることで、精密機械はもちろんのこと工作機械等の超重量貨物のスチール梱包まで対応が可能です。スチール梱包とは、スチールフレームを使用した超重量貨物に適した梱包形態のことで、メリットとしては①容積が小さい点、②短納期対応が可能な点、③梱包・開梱作業が容易な点、④現地で鋼材をリサイクルできる点などがあげられます。

今後も、国際海上貨物における独自のノウハウ、スキルを向上し、お客様の物流パートナーとして最適な提案を行うことで、業績向上へ努めて参ります。



卓球の活動報告

第49回全日本社会人卓球選手権大会

<女子シングルス> 天野優選手 初優勝!!

<女子ダブルス> 天野優選手・中島未早希選手 2連覇達成!!

平成27年10月10日～12日に、石川県いしかわ総合スポーツセンターにて全日本社会人選手権大会が開催されました。

女子シングルスでは、天野優選手が優勝、森蘭美月選手が準優勝しました。今大会で昨年まで2年連続優勝していた阿部恵選手は、準々決勝で天野優選手とのサンリツ同士の戦いで敗退し、ベスト8となりました。

一方、女子ダブルスでは、前年度優勝ペアの天野優選手・中島未早希選手ペアが圧倒的な強さを見せ、2年連続での優勝となりました。阿部恵選手・森蘭美月選手ペアも、順調に勝ち進み、準決勝で天野優選手・中島未早希選手ペアと対戦し敗退しましたが、第3位という結果を残しました。



左より、阿部恵選手、森蘭美月選手、天野優選手、中島未早希選手

コラム 工業包装と商業包装について

包装には工業包装と商業包装の2つの種類があることをご存じでしょうか。前者は物品の輸送・保管を目的としており、運びやすさや段積みしやすさなど作業性を重視するのに対し、後者は販売を目的としており、お菓子のパッケージのようにデザイン性が高く、購買意欲をそそるものとなっています。

当社の主力事業である「梱包」は、工業包装のことを意味しており、主たる形態である段ボール箱や木箱に関しては、その仕様がJIS（日本工業規格）で制定されています。

また、梱包技術の認定制度として、国家資格である工業包装技能士や民間資格である梱包管理士などが存在し、当社従業員においても取得を進めております。



株式の状況 (平成27年9月30日現在)

株式の状況

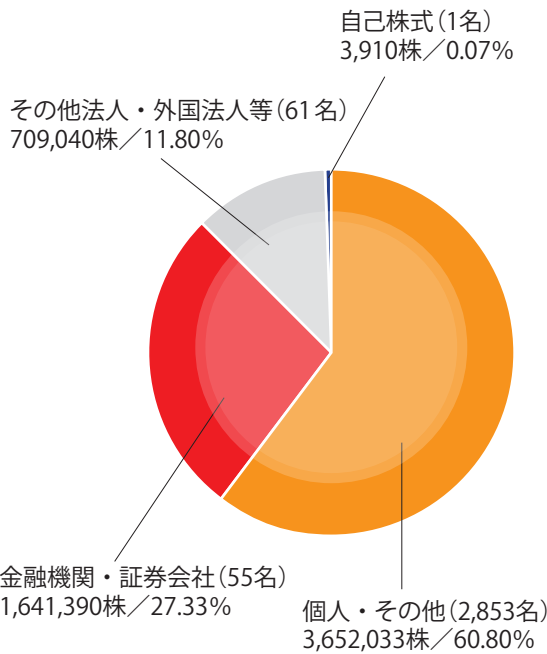
発行可能株式総数 24,000,000株
発行済株式の総数 6,006,373株(自己株式3,910株を含む。)
株主数 2,970名

大株主

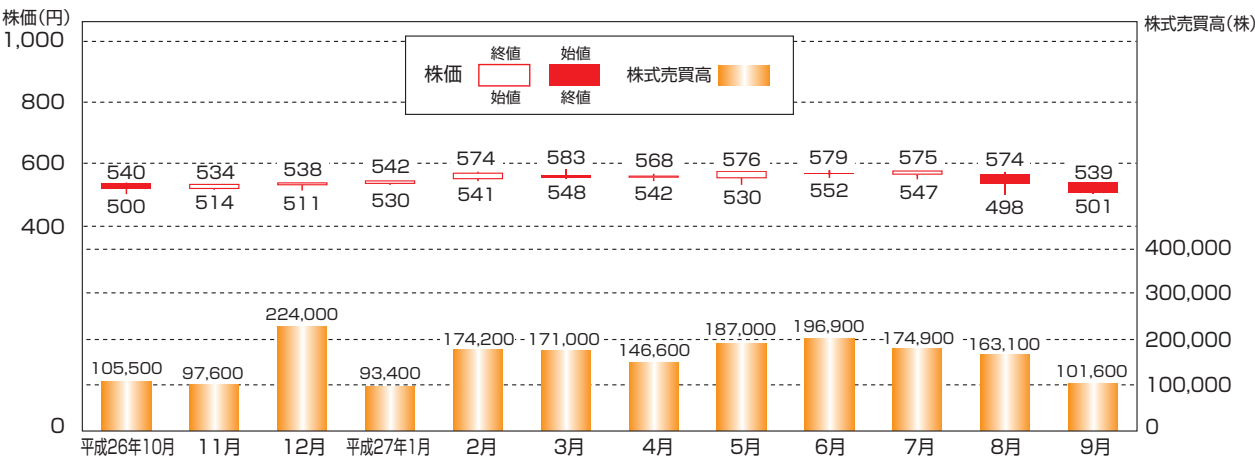
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
三浦正英	460	7.67
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	339	5.65
サンリツ共栄会	324	5.41
(株)三井住友銀行	183	3.06
三井住友信託銀行(株)	181	3.02
(株)りそな銀行	169	2.83
日本建設(株)	134	2.24
(株)三菱東京UFJ銀行	132	2.20
野島岳史	131	2.18
(株)みずほ銀行	111	1.86

(注) 1. 持株比率は、自己株式(3,910株)を控除して計算しております。
2. 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 339千株

株式分布状況



株価・株式売買高の推移



会社概要 (平成27年9月30日現在)

■ 当社

商 号 株式会社サンリツ
(英文表示) (SANRITSU CORPORATION)
本 社 東京都港区港南二丁目12番32号
設 立 昭和23(1948)年3月
資 本 金 2,523,866千円
従 業 員 数 連結:386名 単体:293名
事 業 内 容 梱包事業、運輸事業、倉庫事業、賃貸ビル事業

■ 主な事業所

本 社 東京都港区
白 石 事 業 所 宮城県白石市
郡 山 事 業 所 福島県郡山市
埼 玉 事 業 所 埼玉県児玉郡
柏 事 業 所 千葉県柏市
筑波センター 茨城県稲敷郡
相模原センター 神奈川県相模原市緑区
成田第一事業所 千葉県成田市
成田第二事業所 千葉県成田市
上 田 事 業 所 長野県上田市
上田センター 長野県上田市
三鷹センター 東京都三鷹市
富山センター 富山県富山市
八 王 子 事 業 所 東京都八王子市
八王子センター 東京都八王子市
村山センター 東京都武蔵村山市
日野センター 東京都日野市
横 浜 事 業 所 神奈川県横浜市鶴見区
京 浜 事 業 所 神奈川県横浜市神奈川区
厚 木 事 業 所 神奈川県厚木市
山 梨 事 業 所 山梨県中巨摩郡
大 阪 事 業 所 大阪府大阪市西淀川区

■ 連結子会社

会社名	資本金 (単位 未満切捨)	議決権 比率 (%)	主な事業内容
千葉三立梱包運輸(株)	25百万円	80	硝子及び一般貨物の包装梱包、工場内荷役作業、貨物自動車運送事業、倉庫業並びに包装資材の販売
蘇州新南包装制品有限公司	25,411千CNY	100	包装資材の加工・販売、包装・梱包材の開発・企画・設計
張家港保税区新興南国際貿易有限公司	2,483千CNY	100	貿易
山立国際貨運代理(上海)有限公司	10,000千CNY	100	国際貨運代理業
SANRITSU LOGISTICS AMERICA Inc.	800千USD	100	国際貨物の包装梱包、自動車運送事業、倉庫事業

CNY…中国人民幣 USD…米国ドル
(注)当社の連結子会社は、上記の5社であり、持分法適用会社はありません。

■ 役員

代 表 取 締 役 会 長 三 浦 正 英
代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 三 浦 康 英
取 締 役 専 務 執 行 役 員 平 輪 貢
取 締 役 常 務 執 行 役 員 田 中 光 晴
取 締 役 執 行 役 員 尾留川 一 仁
取 締 役 執 行 役 員 松 尾 学
取 締 役 監 査 等 委 員 篠 田 易 男
取 締 役 監 査 等 委 員 山 崎 公 敬
取 締 役 監 査 等 委 員 稲 永 誠

(注)篠田易男、稲永誠は、社外取締役であります。



株式会社 サンリツ

〒108-0075 東京都港区港南二丁目12番32号

TEL.03-3471-0011 FAX.03-3471-1464

<http://www.srt.co.jp/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-782-031 (平日 午前9時～午後5時)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告掲載方法 電子公告(公告掲載URL <http://www.srt.co.jp/>)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。